WEB 版

社教ニュース ときたまご

令和８年１０月８日（第３号）　山形市教育委員会社会教育青少年課

大曽根地区　そねっこクラブ

大曽根小学校の学校運営協議会で熟議を重ね、地域学校協働活動として令和７年度からそねっこクラブの活動が始まりました。放課後児童クラブのない大曽根小学校の子どもたちのために、放課後や長期休業中の居場所をつくろうと、地域学校協働活動推進員を中心に活動しています。

取材した７月２８日（火）は大曽根コミュニティセンターで活動していました。スタッフは３名、子どもの参加者は大曽根小学校の１～６年生、１５名でした。午前中は自分の夏休みの課題を進めたり、友達とおもちゃのブロックを使って遊んだりしていました。その後、調理室で昼食の準備を始めました。この日のメニューは冷やし中華です。違う学年の子どもが混ざるように３つのグループを作り、調理を開始しました。調理用具を洗ったり、野菜を切ったり、卵を焼いたりと子ども達はグループ毎仕事を分担し、協力して取り組んでいました。準備から後片付けまでグループ毎に自分達の力でやりとげました。冷やし中華が完成した後は和室に移動して、みんなでそろって一緒に冷やし中華を食べました。

午後は地域の方を講師に呼んでキッズヨガをしました。家の人が迎えに来るまで楽しんで活動していました。

「子どもを預かるだけでなく、いろいろな体験を通して子どもの成長につなげたい」という思いをもってスタッフの方々は活動していました。そねっこクラブは地域の方が様々な場面で関わり、子どもの成長につなげています。

まちなかサードプレイス「ビッキの会」～夏の子ども学習会～

７月３１日（金）霞城公民館でまちなかサードプレイス「ビッキの会」が夏の子ども学習会を行いました。「ビッキの会」の大学生６名が先生になり、小学生の学習のお手伝いをしました。今回は高校生ボランティア６名も参加し、小学生と交流しました。小学生は２３名参加し、集中して一人で学習したり、友達と一緒に学習したり、高校生や大学生に聞いたりと自分に合った方法で学習を進めていました。

１時間程学習したところでレクリエーションをしました。みんなで輪になり「〇人で来ました」というゲームをしたり、二人で対戦する反射神経ゲームをしたりしました。いい気分転換になり、また、他の学校の友達と交流する場にもなっていました。

午前中のみの学習会でしたが、子どもたちは夏休みの宿題が進み、友達とも遊ぶことができました。下記のアンケートから有意義な時間であったことが伝わってきました。また、ボランティアで参加した高校生も子どもに丁寧に学習を教えたり、話を聞いてあげたりしていました。高校生も緊張しながらも参加したことに意義を感じており、自分の成長につながればと思います。参加したみなさんにとってよい学習会になりました。

○参加者アンケート

・　お姉さんがいろいろ教えてくれて前よりもよくわかってうれしかった。冬休みもあったら行きたい。
・　２４ページくらい書けたし、コミュニケーションもとれたのでよかったです。
・　みんなで宿題を進められて楽しかったです。
・　遊んだりして楽しかったし、宿題もすごくすすんだのでよかったです。
・　夏休みの宿題がいつもよりたくさん進んだのでよかった。
・　反射神経ゲームで１回目は勝ったけど、２回目は負けたからくやしかったです。

山形市立第九中学校　第二回学校運営協議会

９月１８日（金）山形市立第九中学校で第二回学校運営協議会が行われました。今回の協議会では、学校運営協議会委員と第九中学校の生徒との熟議の場が設けられました。

今回の熟議のテーマは「九中の校則　～現代に合った校則について～」でした。協議会委員、生徒、グループファシリテーターとして実習生が入り、４～６人の５グループに分かれて話し合いました。話合いの最後には各グループでどんな熟議がされたのかを共有する時間がありました。

○グループの発表から

協議会委員

・九中生は純粋で素直な生徒が多い。さわやかな挨拶をしてくれるのでとても嬉しい。
・校則については、「学校をよくしていきたい。」という気持ちがあれば変えてもいいのではないか。
・学校の目標にもあるように「自律」できていればいいと思う。

参加生徒

・自分たちもあいさつを頑張ってきたのでそこを褒めてもらえてとても嬉しい。
・頭髪について、「清潔感のある」という曖昧な表現や男女別に基準も違う等の内容は、今の時代に合わせて変えていくことも必要だと思う。

社教ニュースときたまごのバックナンバー及び山形市における「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」については、こちらからご覧ください。